

小学生高学年の部



水道について学んだこと

石巻市立大谷地小学校 4年 武山 あい

ある日の休み時間、私は校長先生と作業服を着た方が三、四年生の教室の前で水道の水を飲んでいる姿を目撃しました。先生たちは、一か所だけでなく何か所もの水道の水を飲んでいてとても不思議な光景でした。理由が知りたくて、勇気を出して校長室を訪ねてみると、校長先生は「水質調査」だということを教えてくださいました。

水質調査について私は詳しく知りません。当たり前すぎて、水がどうやってうまれて蛇口から流れてきて、トイレで流した水はどこに行くのか、にあまり関心がありませんでした。水道と水について調べていくと、水質汚染の大きな原因の一つが私たちの生活排水であるということを知りました。特に、牛乳コップ1杯を下水に流したら、その水を魚が住めるくらいきれいに戻すにはバスタブ11杯分もの水が必要だということに驚きました。私は、毎日朝ごはんを飲んで牛乳を飲みます。でも、飲み切れなくて残った牛乳はシンクに流してきました。それをきれいにしてもらったためどのくらいの水が必要だったんだろうと反省しました。そこで私は、「生活排水を減らそう」というポスターを作り、自宅で生活排水を減らす取り組みを行ってみました。ポスターには、調べた対策のうち、私にも出来そうな一つ目は「お皿の汚れはふき取りましょう。」二つ目は「食べられる分だけよそいましょう。」三つ目は「シャワーの使い過ぎに注意しましょう。」四つ目は「米のとぎ汁は野菜の水やりに使いましょう。」の四点を記入しました。そのポスターを家族が目にしやすいように、食卓のテーブル、台所のシンクの上、浴室のドア、寝室のドアの四か所にはりました。ごはんをよそう時は食べられる分に気を付けてよそい、牛乳はコップ半分にして飲み切れるようにしました。また、食べ終わったお皿はティッシュでふき取ってからシンクに戻しました。米のとぎ汁は測ってみたら四リもあり、すごく重たかったのに、庭のナスにあげたら一瞬で無くなってしまいました。習慣が付きづらく忘れてしまうこともあり、継続していくには、ポスターだけではなく、家族で声掛けしたり工夫が必要だなと感じました。

これまで私は、自分が水を汚しているという自覚がありませんでした。自分たちの生活排水が水質汚染につながると知れば、そのせいできれいな水が飲めなくなるかもしれない、美味しいお魚が食べられなくなるかもしれないということを知れば、きっと、みんな自分の生活を見直すきっかけになると思います。ほんの少しの努力でも、沢山の人が言えば大きな成果につながります。日本中のみんなに伝えるのは難しいので、私は身の回りの人から伝えていきたいと思います。